

メンテナンス・レジリエンス TOKYOに「デジコア」など出展

ジャスト(神奈川)

検査大手のジャスト(本社・横浜市青葉区、角田賢

明社長)は7月26〜28の3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2023」に出展、大勢の来場者の関心を集めた。

同社のブース内に展示したのは、最速・正確な墨出しで工期短縮が図れる「デジコア」、広角展開式カメラでの下水管きよ調査の「スマカン」、橋梁点検の調書作成時間を7割削減可能な「タテログ」、複雑な既存構造物をBIM化する「JSCAN」などのほ

か、「フェーズドアレイ超音波探査」「無足場点検」「JSYSTEM Evolution」などを紹介。メンテナンス・維持管理に欠かせない技術と機器を使用して実演を行った。

特に「デジコア」は施工図面のデータと現場をマッチングさせ、寸法線なしで穿孔箇所などの施工部にレーダーを照射、素早く正確な墨出



メンテナンス・維持管理に欠かせない技術と機器を紹介

しができるシステムで、工期が大幅に短縮できるというメリットを持つ。ブース内でも来場者から大きな注目を集めていた。